



Betek Boyaの買収について

2019年4月26日

日本ペイントホールディングス株式会社

■ エグゼクティブ・サマリー

- Betek Boyaは、今後高い成長が期待されるトルコ建築用塗料市場のトッププレーヤー。
- 日本ペイントホールディングスグループは、同社をグループに取り込むことにより、すでに高い競争力を有するアジア、先般買収を発表したパシフィック地域に加え、トルコにおいてもNo.1シェアを獲得。
- 本件は「地域ナンバーワンシェアの獲得」という当社戦略に沿った買収であり、DuluxGroup(ANZ シェア1位)に続き、当社グループの事業基盤の一層の強化に資する、高い戦略的意義を有する。
- 案件規模(取引金額)は現時点では非公表。案件完了後、確定次第公表予定。買収資金は銀行借入で調達し、新株発行を伴う資金調達は予定していない。
- 買収初年度よりEPS増加に貢献*。株主価値最大化に寄与。
 (* 一過性費用等の特殊要因を加味したベース)

アジェンダ

1. 背景と戦略的意義

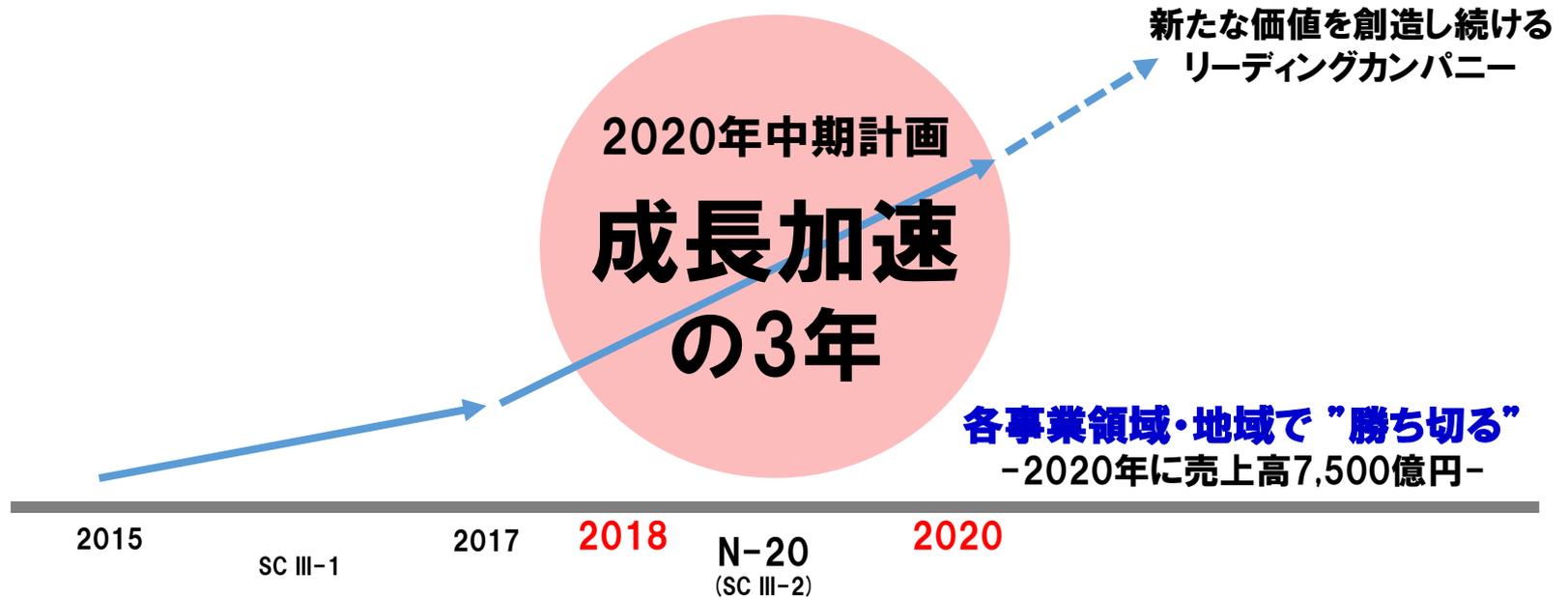
2. Betekの概要

3. 買収概要

4. 想定シナジー

1. 背景と戦略的意義：中計N-20との関連

2020年に向け、中期経営計画“N-20”を策定し成長戦略を推進



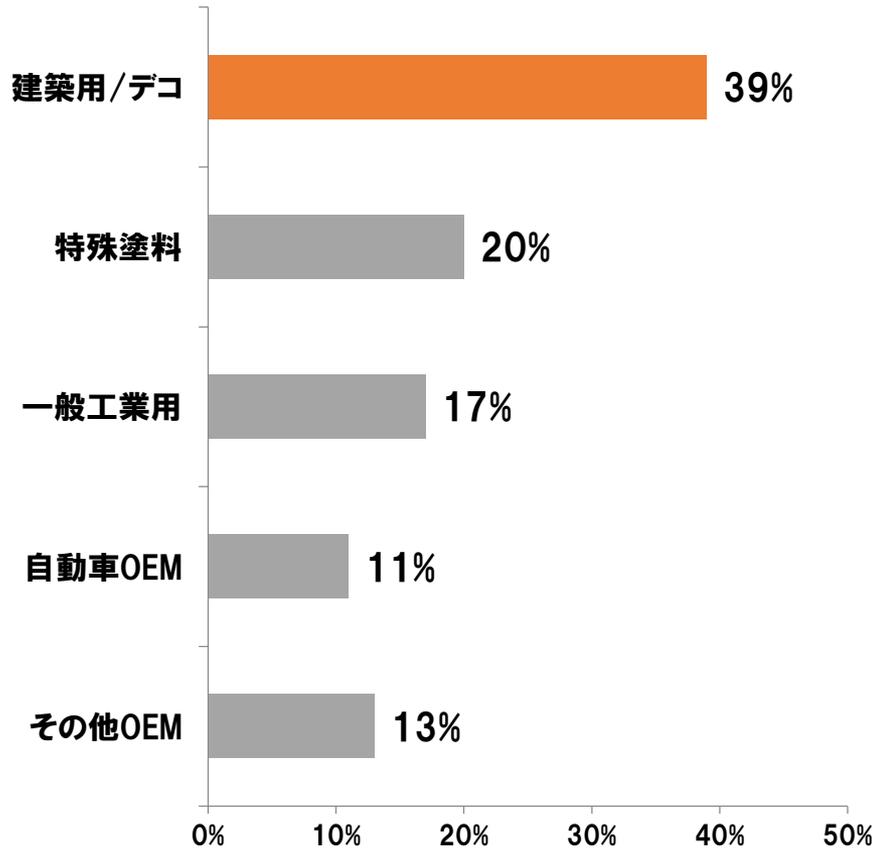
重点施策

- 1 既存セグメントの徹底的な強化
- 2 **ポートフォリオ拡充の加速(M&A推進)**
- 3 収益力の向上(成長投資後、営業利益率14%)
- 4 **“Global One Team”運営強化**

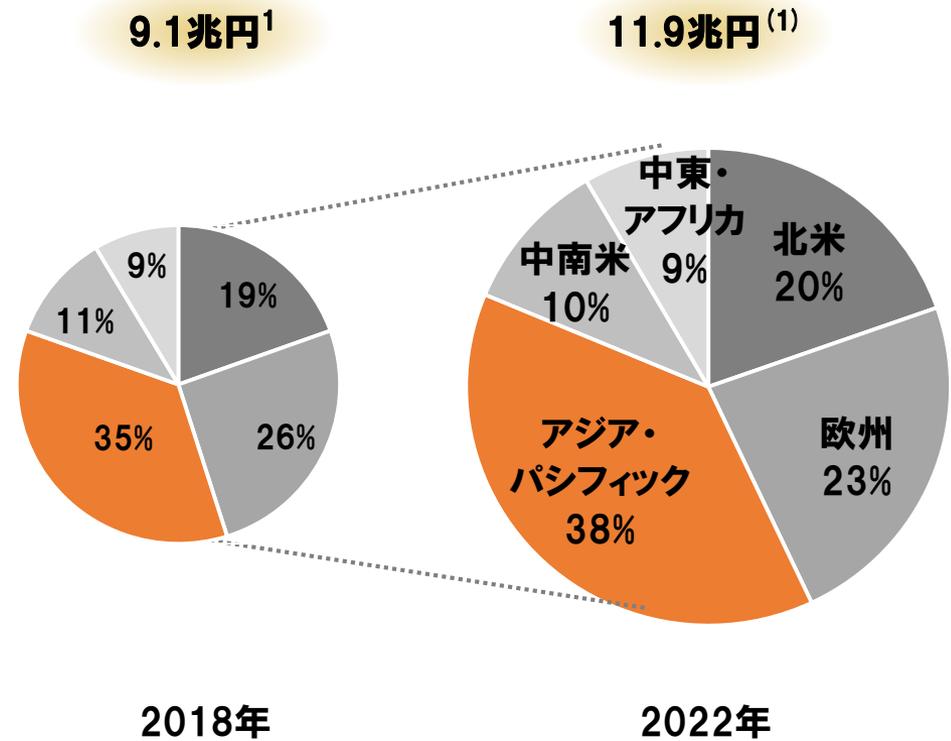
1. 背景と戦略的意義：グローバル市場構造

「建築用塗料」×「アジア・パシフィック」で圧倒的なポジションを構築・強化

世界の塗料・コーティング材市場用途分野別シェア（2018年）



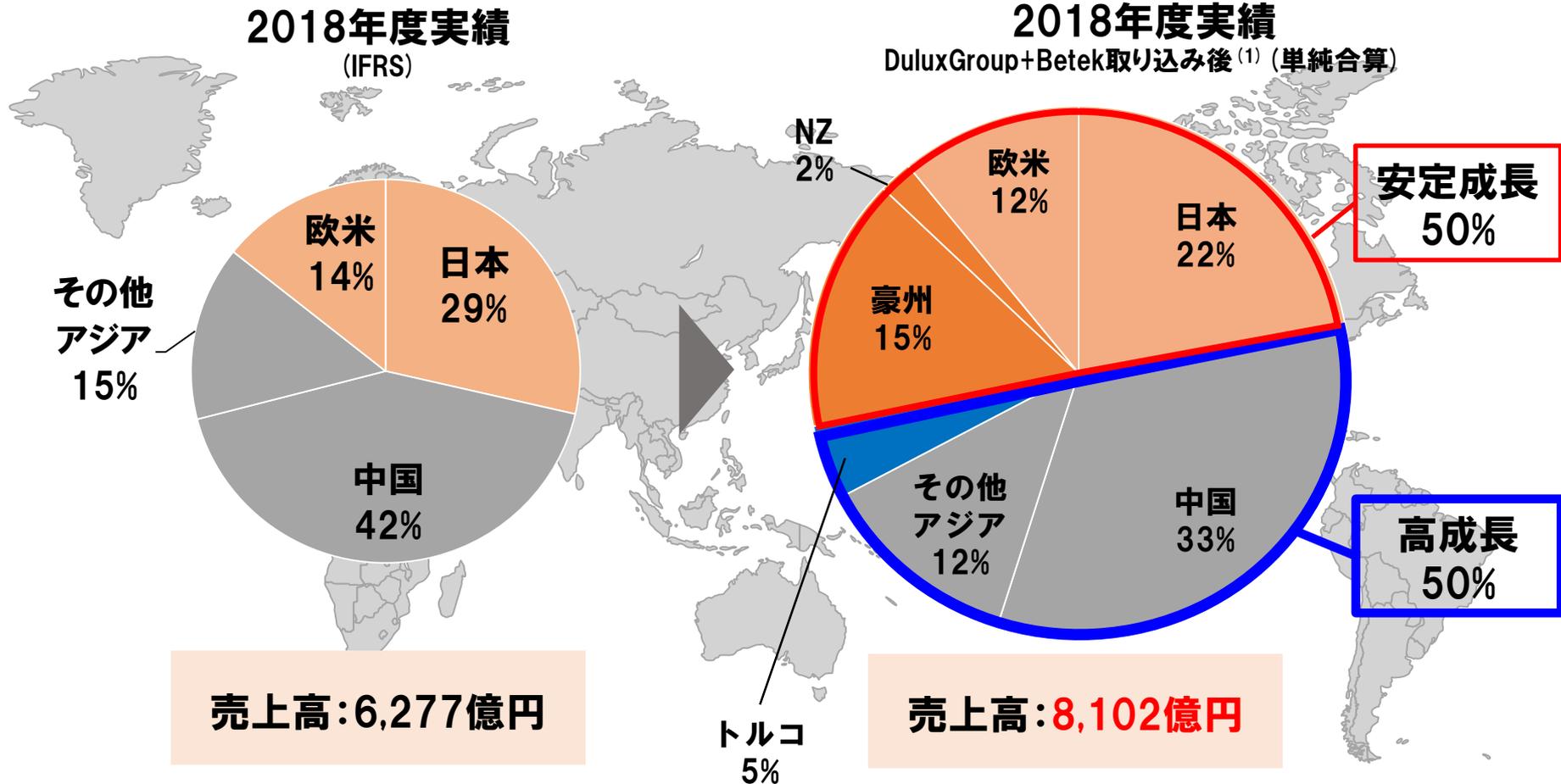
世界の建築用塗料・コーティング材市場(地域別シェア見通し)



(1) 弊社推計、US\$=110.91円で換算(2019/3末)

1. 背景と戦略的意義：グローバルでの事業地域バランス

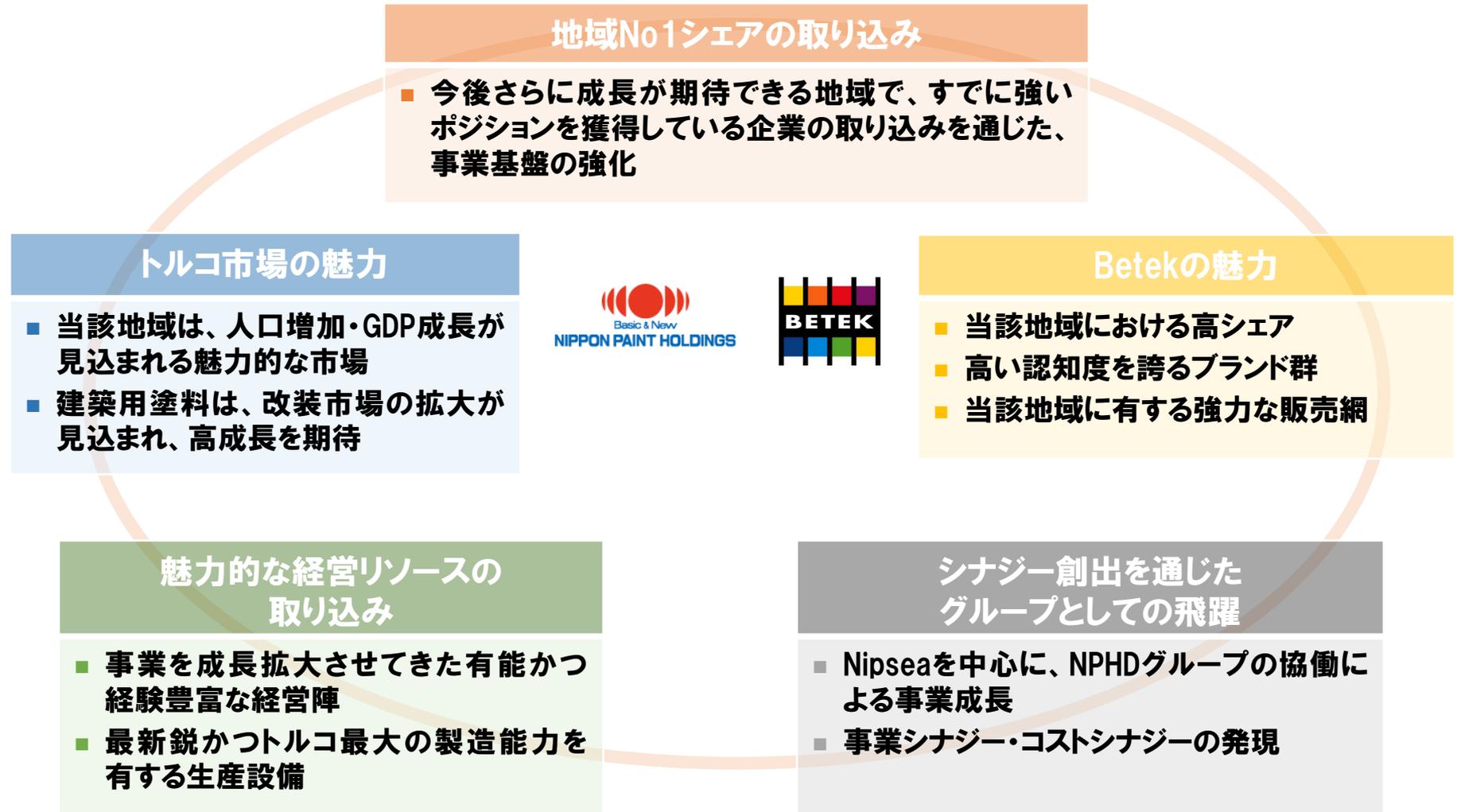
高成長地域（アジア・中国） vs 安定成長地域（日本・米欧・パシフィック）
 今回の買収で、さらにバランスの取れた地域ポートフォリオを確立



(1) DuluxGroupの実績については、A\$として80円で換算
 Betekの実績については1TL=20円として換算

1. 背景と戦略的意義：価値最大化に貢献する5つの理由

Betek買収は企業価値・株主価値の向上に大いに資する案件



1. 背景と戦略的意義：本件におけるリスクの評価(1)

下記リスク要素について真摯に議論した上で買収を判断

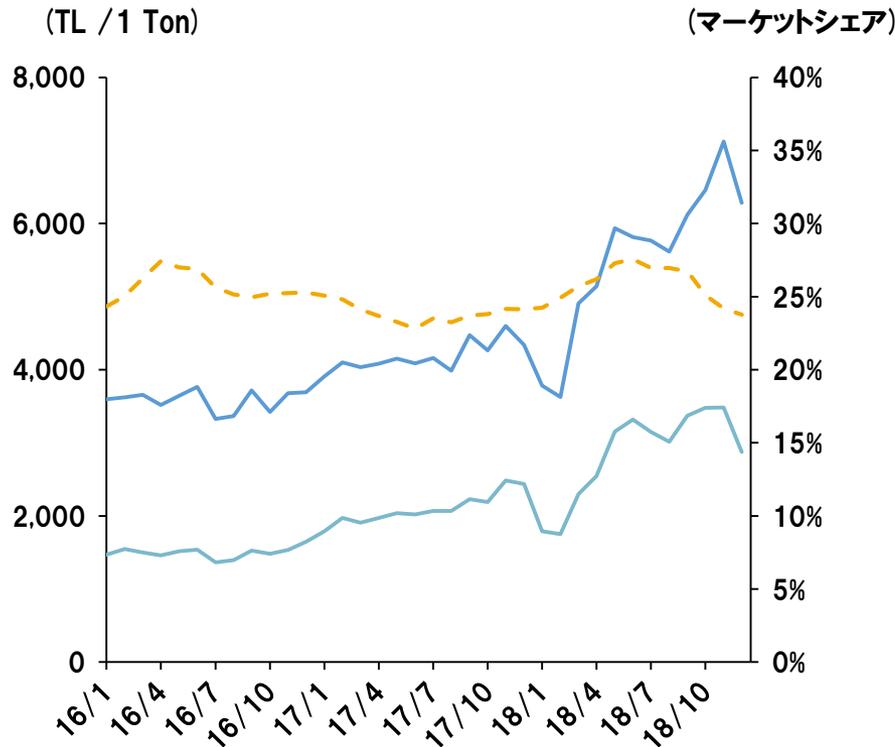
<p>トルコ経済の 不透明感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ GDP成長は2018年後半から鈍化するも、長期的な観点では6～7年程度の景気循環の中で、回復・成長しており、人口分布や市場の潜在力に鑑みればむしろ投資の好機
<p>建築用塗料 市場の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 経済状況による短期的なインパクトはあるものの、GDPの成長に従って成長してきた実績から、将来的な回復はトルコ経済の回復とあいまって十分可能
<p>為替</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 短期的にはトルコリラ安は輸入原材料コストに影響するも、トルコ市場では消費者への価格転嫁がスムーズに行われてきた実績
<p>インフレ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ インフレ・金利の上昇は運転資本を通じて短期的なインパクトがあるものの、本件では価格転嫁・運転資本回転期間の短縮等により、利益への影響の極小化が可能

1. 背景と戦略的意義：本件におけるリスクの評価(2)

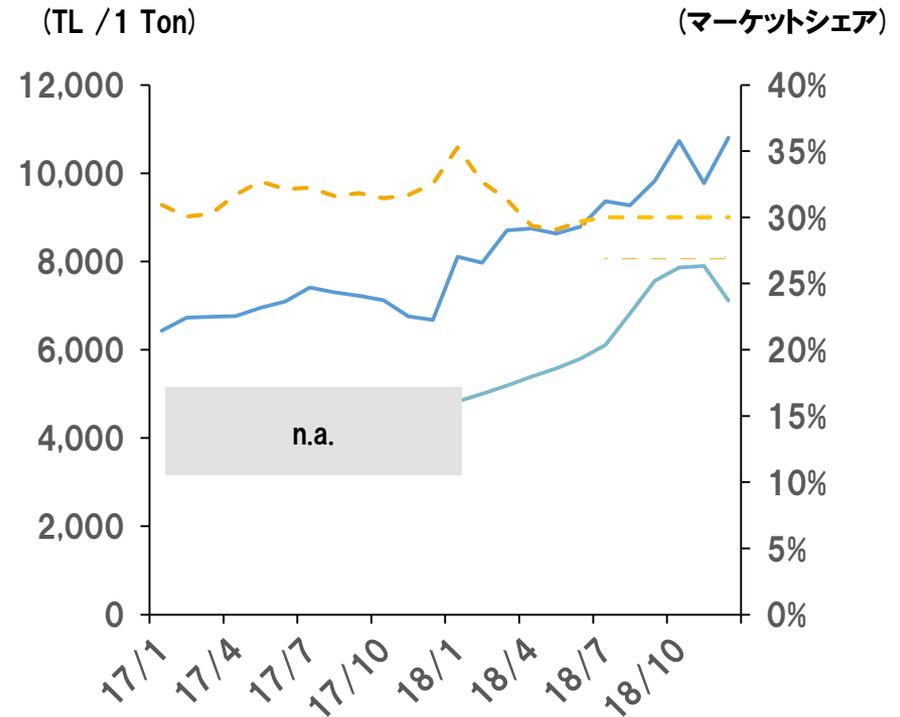
Betekは原材料費の上昇を適正に価格転嫁してきた実績を有する

マーケットシェアおよび販売価格・原材料費の推移

建築用塗料



発泡スチロール



(左軸) ■ 販売価格(平均) ■ 原材料費(平均) (右軸) ■ ■ マーケットシェア

出所: Betekマネジメント

2. Betekの概要：企業概要

1988年設立、トルコ建築用塗料・建設資材のトッププレイヤー

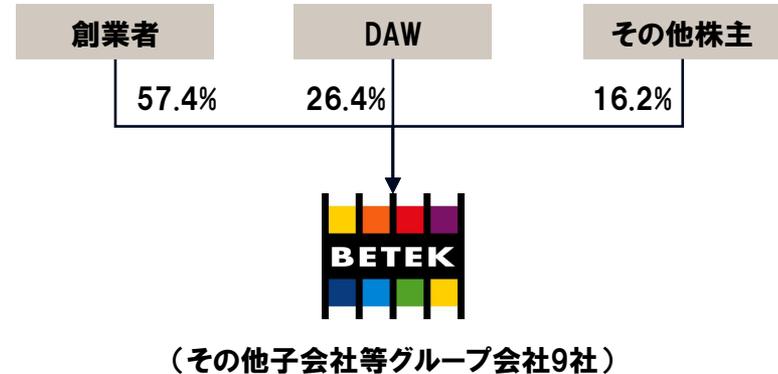
Betekグループ企業概要

- 1988年設立、本社はトルコ・イスタンブール
- トルコ建築用塗料市場において、約25%のシェアを有するトッププレイヤー
- トルコ国内に、25のディストリビューター、10の倉庫、約5,600のディーラーを有しており、圧倒的な流通網を構築
- 従業員数は1,300人超
- トルコに5か所、エジプトに1か所の工場を保有
- ETICS(断熱材)でもトルコ国内トップシェア(約30%)を有する建設用材料におけるトッププレイヤー

Betekグループ沿革

- 1988年 設立
- 2001年 建築用塗料におけるシェア国内No.1に
- 2003年 ETICS(断熱材)事業に参入
- 2004年 Gebzeに大型の建築用塗料工場を設立
- 2009年 GebzeにEPS(発泡スチロール)工場を増設
- 2011年 KayseriにETICS工場を設立

Betekグループコーポレートストラクチャー



Betek 本社



Gebze工場

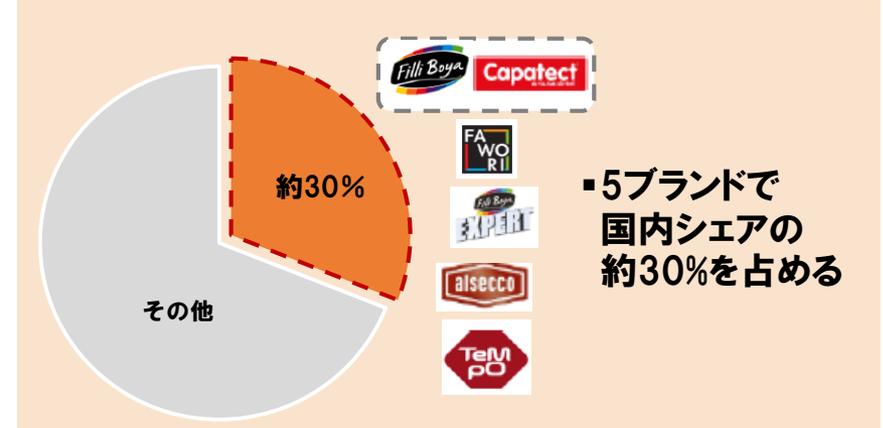
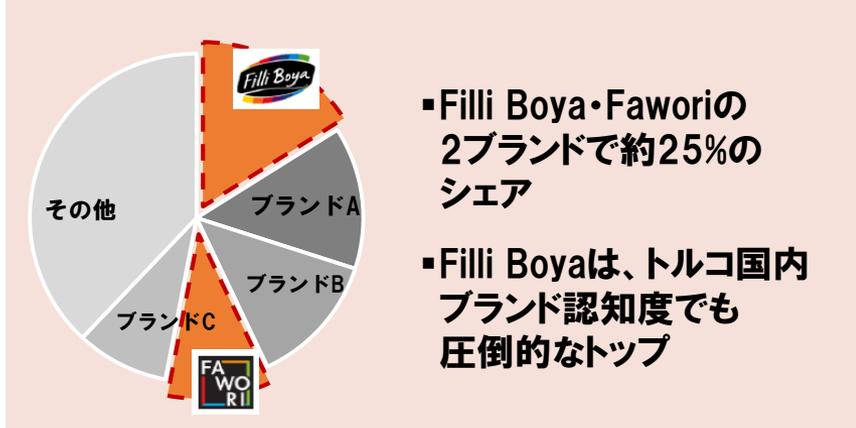


2. Betekの概要：事業・製品ポートフォリオ・シェア

建築用塗料・ETICS (断熱材) においてトップシェアを有する

トルコの建築用塗料市場シェア(重量ベース)

トルコのETICS市場シェア(ボリュームベース)



建築用塗料

工業用・家具用コーティング事業

ETICS (断熱材)

補助製品

- 17年間にわたりトップシェアを維持するトルコにおける最有力メーカー

- 工業用および家具用に、コーティング材料を提供

- EPS や Stone Wool 等、多様な建築用材料を提供

- ローラーやブラシ・接着剤等塗料に補完的な製品を販売

概要

製品例

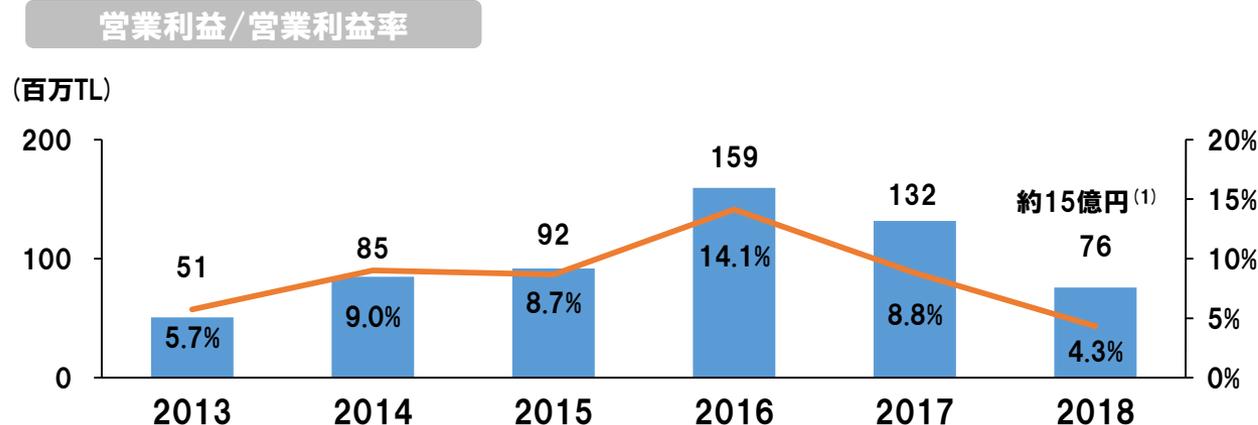
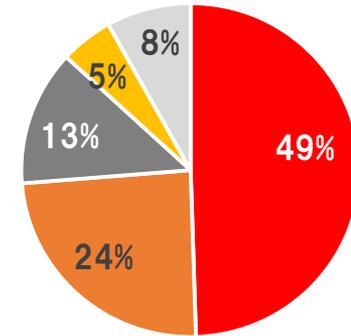
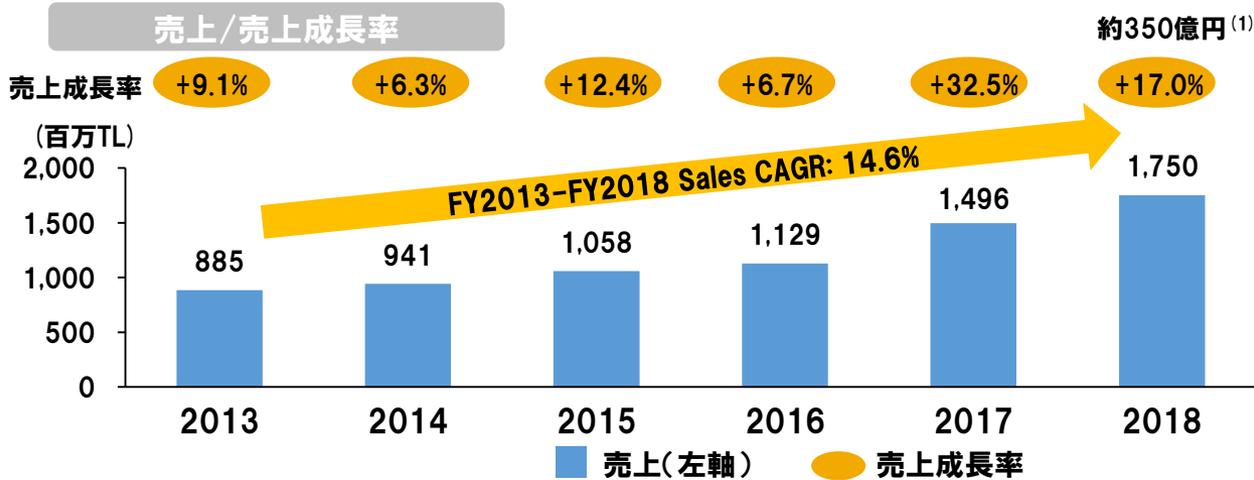


2. Betekの概要：業績推移とセグメント構成

高い売上成長を記録、大幅に事業を拡大

売上・利益の推移(百万TL)

セグメント別売上構成比 (2017年12月期)



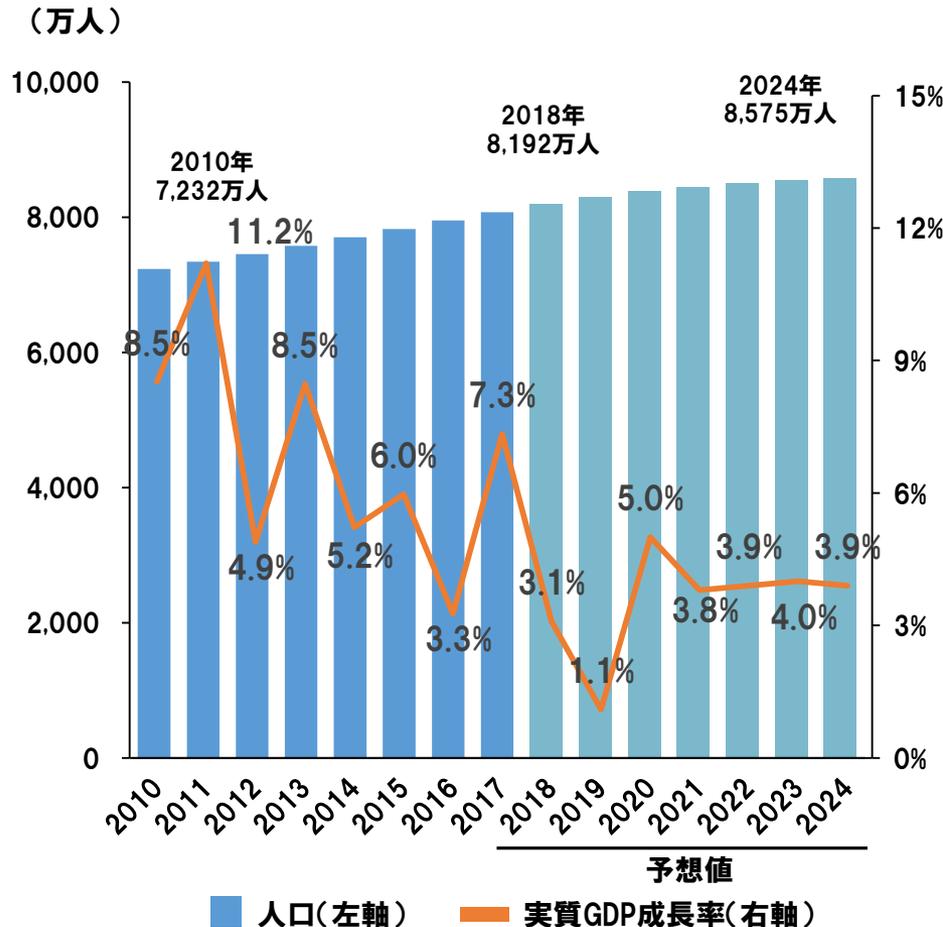
- 建築用塗料
- ETICS (断熱材)
- 工業用・家具用コーティング事業
- 補完製品
- その他

出所: Betekマネジメント
⁽¹⁾ 1TL=20円として換算

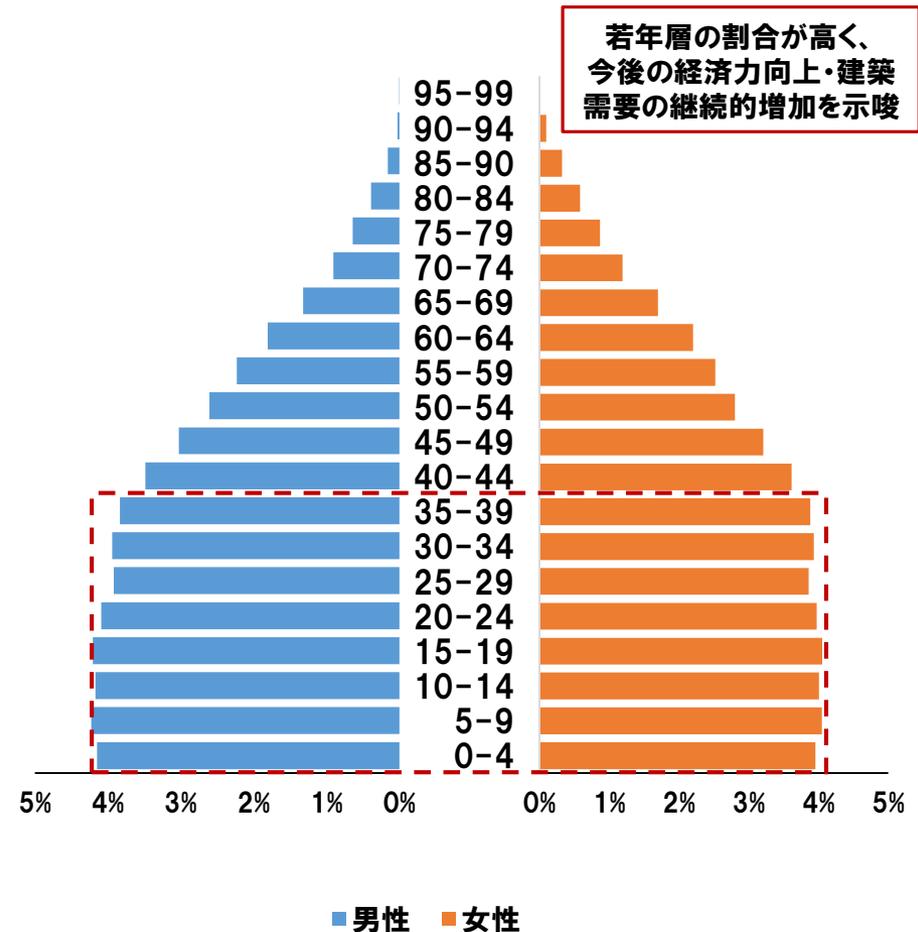
2. Betekの概要：トルコ経済の成長性

人口増加、若年層が多い人口構成により高い経済成長性が期待される

トルコ総人口見通し(万人)と実質GDP成長率(%)



トルコの人口ピラミッド



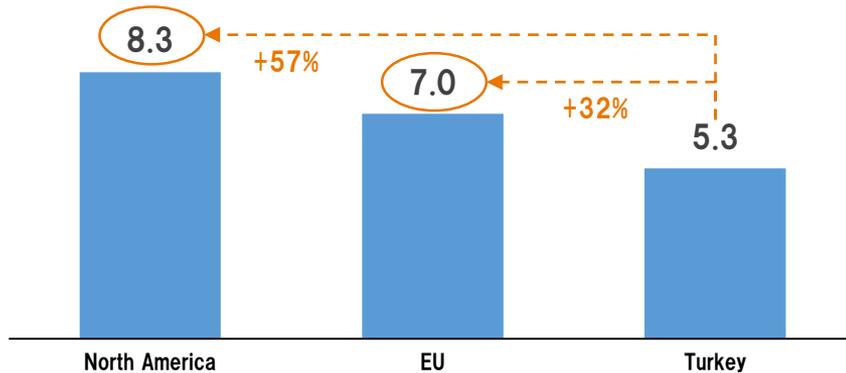
2. Betekの概要:トルコ建築用塗料市場の成長性

高成長が期待できる魅力的なトルコ市場、今後の市場予測も順調

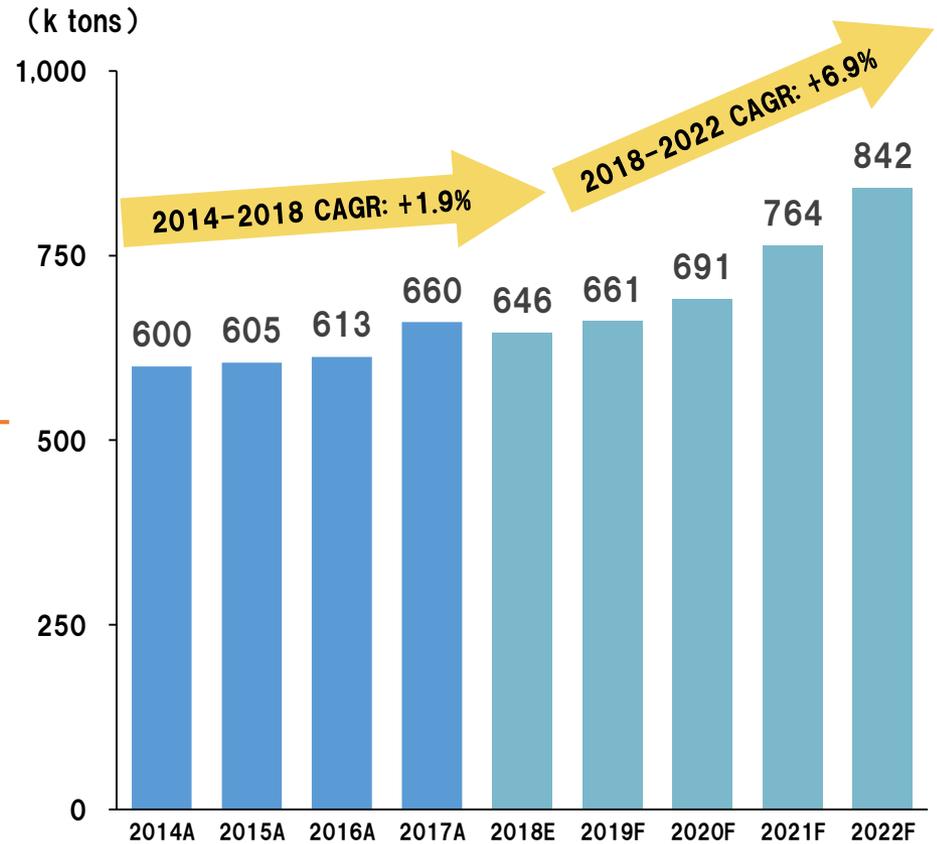
トルコ建築用塗料市場概略



一人当たり建築用塗料使用量 (lt)



トルコ建築用塗料市場(重量ベース)



出所: 自社推定、Betekマネジメント
(1) 1TL=20円として換算

3. 買収概要

取引価格	<ul style="list-style-type: none"> ■ 案件規模(取引金額)は現時点では非公表 ■ 案件完了後、確定次第公表予定
買収資金の調達方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金融機関からの借入金にて充当 (新株発行を伴う資金調達は予定していない)
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本ペイントホールディングスによる株式買収 ■ Betek社株式95.915%を取得予定
買収完了までのプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2019年6月中を目途にクローリング予定
財務影響	<ul style="list-style-type: none"> ■ EPSは初年度よりプラスに寄与する見込み ■ 短期的に負債が増大するものの、買収後は財務改善に努める ■ 格付水準はA格ゾーンを維持できるよう財務運営を行う ■ のれんおよび無形固定資産等の詳細は確定次第公表予定
株主還元方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株主還元の方針は変更しない(配当性向30%を目線に、増配基調を目指す)

4. 想定シナジー

多くの領域でシナジー発現を想定

想定シナジー

1
経営

- 買収後のマネジメントはNipseaチームが経営をリードしつつ、NPHDグループで協働

2
売上拡大

- 製品ラインナップ拡充
- ブランド価値の一層の向上に向けた広告宣伝・マーケティングノウハウ共有

3
コスト改善

- 原材料調達におけるコスト削減

4
財務強化

- NPHDグループの資金調達コスト活用



日本ペイントホールディングス株式会社

〈お問い合わせ先〉

日本ペイントホールディングス(株) 経営企画本部 IR広報部 IR室

+81 (0) 6-6455-9140

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、これらと異なる可能性があります。この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社および情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おきください。